



## 2022年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月14日

上場会社名 株式会社グッドスピード 上場取引所 東  
 コード番号 7676 URL https://goodspeed-group.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 久統  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松井 靖幸 TEL 052 (933) 4092  
 定時株主総会開催予定日 2022年12月23日 配当支払開始予定日 2022年12月26日  
 有価証券報告書提出予定日 2022年12月26日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年9月期の連結業績（2021年10月1日～2022年9月30日）

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期	56,144	25.4	1,001	64.6	773	73.6	381	△0.1
2021年9月期	44,778	-	608	-	445	-	381	-

(注) 包括利益 2022年9月期 381百万円 (△0.1%) 2021年9月期 381百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年9月期	116.95	115.05	17.5	2.9	1.8
2021年9月期	124.17	122.35	24.7	2.3	1.4

(注) 2021年9月期第2四半期末をみなし取得日として株式会社チャンピオン（現 株式会社チャンピオン76）を連結子会社化したことに伴い、2021年9月期第2四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、2021年9月期の対前年増減率は記載していません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年9月期	30,509	2,586	8.4	744.91
2021年9月期	21,995	1,806	8.2	578.01

(参考) 自己資本 2022年9月期 2,569百万円 2021年9月期 1,796百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年9月期	△3,336	△2,407	6,293	2,026
2021年9月期	△65	△3,445	3,882	1,476

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2022年9月期	-	0.00	-	10.00	10.00	34	8.6	1.3
2023年9月期(予想)	-	0.00	-	10.00	10.00		5.9	

(注) 当社は2022年11月14日開催の取締役会において、2022年9月30日を基準日とする剰余金の配当を、直近の配当予想の金額である1株あたり10円で決議いたしました。

## 3. 2023年9月期の連結業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,830	33.3	1,700	69.8	1,100	42.2	620	62.6	168.17

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 -、除外 -社（社名）-

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年9月期	3,448,800株	2021年9月期	3,125,900株
② 期末自己株式数	2022年9月期	52株	2021年9月期	24株
③ 期中平均株式数	2022年9月期	3,260,307株	2021年9月期	3,073,342株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(会計方針の変更) .....	11
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められ、景気が持ち直していくことが期待されております。しかしながら、ウクライナ情勢等を受けた資源価格上昇や円安による物価の上昇、世界的な金融引き締めなどが続くなか、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっていることに十分注意する必要があります。

このような環境のなか、中古車業界におきましては、世界的な半導体不足と、新型コロナウイルス感染症の流行によるロックダウンの影響で生産工場が稼働停止したことなどによる新車販売減少の影響を受け、中古車流通も停滞したため、2021年10月から2022年9月までの国内中古車登録台数は、3,553,740台（前年同期比6.6%減）と前年同期間を下回る結果となりました。（出典：一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計データ）

このような厳しい状況の下、当社グループにおきましては、2021年12月に岐阜県岐阜市にグッドスピード車検岐阜店、2022年2月に愛知県豊川市にグッドスピードMEGA SUV豊川御油店、2022年3月に静岡県浜松市にCHAMPION76浜松店、2022年4月に岐阜県大垣市にCHAMPION76大垣店、愛知県豊川市にCHAMPION76豊川御油店、2022年8月に愛知県名古屋市中区にグッドスピードMEGA輸入車名古屋昭和橋店、CHAMPION76名古屋昭和橋店をオープンするなど、車、バイクにおける新車・中古車販売の拡大及び買取や整備・钣金・ガソリンスタンド、レンタカーサービス、保険代理店サービスを強化し、顧客の車に関する需要に対し、ワンストップでサービスを提供できる体制作りを積極的に進めてまいりました。

その結果、当連結会計年度における売上高は、56,144百万円（前年同期比25.4%増）、営業利益は1,001百万円（前年同期比64.6%増）、経常利益は773百万円（前年同期比73.6%増）となりました。一方、親会社株主に帰属する当期純利益は、前連結会計年度に株式会社チャンピオン（現 株式会社チャンピオン76）のM&Aに伴う特別利益111百万円の発生があったこと及び当期にMEGA SUV清水鳥坂店、CHAMPION76清水鳥坂店が台風被害にあったことにより145百万円の特別損失における災害による損失を計上したため、前年をわずかに下回り381百万円（前年同期比0.1%減）という結果となりました。なお、災害による損失については、加入していた損害保険の適用により204百万円の特別利益および被災車両の販売見積価格81百万円、合計286百万円の特別利益を計上しており、上記の特別損失における災害による損失については、特別利益の金額を控除した金額で計上しております。現在、復旧工事を進めており2023年第2四半期以降に被災前の状態に戻る見込みであります。なお特別損失における災害による損失および特別利益については見込みの金額を含んでおり、今後、見込み金額との差異が生じた場合には特別損益に追加の計上を行いますが、現時点ではその金額は軽微であると予想しております。

なお、当社は、自動車販売及びその附帯事業の単一セグメントのため、サービスごとの経営成績の内容を記載しており、セグメントごとの記載はしていません。

#### (自動車販売関連)

当連結会計年度は、2021年4月以降に出店したMEGA専門店4店舗が寄与し、小売販売台数は、14,793台（前年同期比15.1%増）となりました。加えて2022年9月期第2四半期以降の買取専門店出店と、子会社の株式会社チャンピオン76のバイク販売店出店が寄与し、当事業年度における売上高は52,452百万円（前年同期比25.5%増）となりました。なお、新車・中古車販売、買取を自動車販売関連としております。

#### (附帯サービス関連)

自動車販売台数増加に伴う当社顧客数の拡大及び整備工場の新設により整備件数が増加したことと、沖縄の観光需要回復によるレンタカー事業拡大により、当連結会計年度における売上高は3,691百万円（前年同期比23.7%増）と好調に推移しました。なお、整備・钣金・ガソリンスタンド、レンタカーサービス、保険代理店サービスを附帯サービス関連としております。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (流動資産)

当連結会計年度末における流動資産の残高は19,269百万円で前連結会計年度末に比べ6,313百万円増加しております。主な要因は、商品が3,230百万円及び売掛金が1,607百万円増加したことなどによるものであります。

#### (固定資産)

当連結会計年度末における固定資産の残高は11,240百万円で前連結会計年度末に比べ2,201百万円増加しております。主な要因は、建物（純額）が1,072百万円及び建設仮勘定が436百万円増加したことなどによるものであります。

#### (流動負債)

当連結会計年度末における流動負債の残高は21,474百万円で前連結会計年度末に比べ6,158百万円増加しております。主な要因は、短期借入金が4,289百万円、前受金が500百万円及び1年以内返済予定の長期借入金が469百万円増加したことなどによるものであります。

#### (固定負債)

当連結会計年度末における固定負債の残高は6,449百万円で前連結会計年度末に比べ1,576百万円増加しております。主な要因は、長期借入金が1,198百万円及びリース債務が281百万円増加したことなどによるものであります。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は2,586百万円で前連結会計年度末に比べ779百万円増加しております。主な要因は、資本金が257百万円、資本剰余金が257百万円及び利益剰余金が257百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は2,026百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は3,369百万円となりました。これは主に、税引前当期純利益619百万円、減価償却費654百万円、前受金及び長期前受金の増加額618百万円があった一方で、たな卸資産の増加額3,538百万円、売上債権の増加額1,607百万円、前払金及び長期前払金の増加額627百万円があったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は2,407百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出2,254百万円、保証金の支払による支出213百万円があったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、獲得した資金は6,293百万円となりました。これは主に、長期借入れによる収入4,722百万円、短期借入金の純増減額4,289百万円があった一方、長期借入金の返済による支出3,126百万円があったことなどによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響は続くものの、行動制限の緩和に伴い、消費意欲の減退は限定的なものになると想定しております。また半導体の不足による新車販売の減少が中古車販売へ与える影響につきましても限定的に留まるものと想定しております。なお、顧客の消費行動や車の利用意向、季節性には大きな変化がないことを想定しております。

次期業績の見通しにつきましては、顧客のニーズに的確に対応することはもとより、SUV・4WD販売の展開を進め、一人でも多くの顧客に当社のスローガンを伝えるとともに「SUVといえばグッドスピード」の認知度を向上させ、新規出店の拡大など売上向上に取り組んでいきたいと考えております。

2023年9月期の通期の業績予想としては、売上高74,830百万円（前年同期比33.3%増）、営業利益1,700百万円（前年同期比69.8%増）、経常利益1,100百万円（前年同期比42.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益620百万円（前年同期比62.6%増）を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準に基づき財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

### 3. 連結財務諸表及び主な注記

#### (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当連結会計年度 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,476,637	2,026,369
売掛金	2,405,378	4,012,540
商品	8,088,098	11,318,896
貯蔵品	1,987	2,877
前払金	679,489	1,280,872
前払費用	186,838	194,038
その他	117,904	433,853
流動資産合計	12,956,334	19,269,447
固定資産		
有形固定資産		
建物	5,423,210	6,685,332
減価償却累計額	△1,060,180	△1,249,963
建物(純額)	4,363,029	5,435,369
構築物	1,205,813	1,439,518
減価償却累計額	△315,839	△403,161
構築物(純額)	889,973	1,036,357
機械及び装置	142,410	143,289
減価償却累計額	△45,601	△59,499
機械及び装置(純額)	96,808	83,789
車両運搬具	209,096	115,555
減価償却累計額	△106,140	△36,933
車両運搬具(純額)	102,955	78,622
工具、器具及び備品	658,679	765,220
減価償却累計額	△368,124	△482,366
工具、器具及び備品(純額)	290,555	282,853
土地	1,487,285	1,487,787
リース資産	540,230	910,633
減価償却累計額	△218,968	△307,158
リース資産(純額)	321,261	603,474
建設仮勘定	353,591	790,085
有形固定資産合計	7,905,461	9,798,340
無形固定資産		
のれん	72,565	52,571
ソフトウエア	18,054	16,273
リース資産	100,234	108,042
その他	103	6,555
無形固定資産合計	190,958	183,443
投資その他の資産		
出資金	838	868
保証金	711,972	891,732
長期前払金	78,436	108,604
長期前払費用	11,445	12,449
繰延税金資産	74,350	173,451
その他	65,859	71,506
投資その他の資産合計	942,903	1,258,613
固定資産合計	9,039,323	11,240,397
資産合計	21,995,657	30,509,844

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当連結会計年度 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,715,730	2,122,680
短期借入金	9,805,771	14,095,450
1年内償還予定の社債	60,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	1,763,597	2,232,854
リース債務	92,745	166,851
未払金	120,318	141,137
未払費用	210,557	272,214
未払法人税等	191,534	222,694
前受金	1,146,931	1,647,141
預り金	70,903	84,574
返金負債	-	253,928
賞与引当金	108,805	141,990
役員賞与引当金	8,070	9,700
その他	20,533	52,796
流動負債合計	15,315,498	21,474,014
固定負債		
社債	30,000	-
長期借入金	4,060,093	5,258,204
リース債務	368,518	649,717
繰延税金負債	23,654	33,695
資産除去債務	24,868	25,080
長期前受金	366,224	482,943
固定負債合計	4,873,359	6,449,641
負債合計	20,188,858	27,923,655
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	441,806	699,209
資本剰余金	460,772	718,175
利益剰余金	893,959	1,151,758
自己株式	△53	△112
株主資本合計	1,796,484	2,569,031
新株予約権	10,315	17,157
純資産合計	1,806,799	2,586,189
負債純資産合計	21,995,657	30,509,844

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)	当連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)
売上高	44,778,216	56,144,757
売上原価	37,716,677	46,743,927
売上総利益	7,061,539	9,400,830
販売費及び一般管理費	6,453,179	8,399,600
営業利益	608,359	1,001,230
営業外収益		
受取利息	1,682	1,352
受取配当金	14	0
協賛金収入	2,727	-
受取手数料	9,730	6,522
販売協力金収入	4,950	4,000
受取補償金	6,500	-
その他	12,702	15,727
営業外収益合計	38,306	27,602
営業外費用		
支払利息	124,638	184,278
支払手数料	76,208	70,374
その他	154	421
営業外費用合計	201,002	255,075
経常利益	445,663	773,757
特別利益		
固定資産売却益	164	7,336
負ののれん発生益	111,916	-
特別利益合計	112,081	7,336
特別損失		
固定資産除却損	1,031	1,034
災害による損失	-	145,645
減損損失	-	2,414
その他	-	12,890
特別損失合計	1,031	161,984
税金等調整前当期純利益	556,714	619,110
法人税、住民税及び事業税	169,790	272,447
法人税等調整額	5,313	△34,615
法人税等合計	175,103	237,832
当期純利益	381,610	381,278
親会社株主に帰属する当期純利益	381,610	381,278



(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)	当連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)
当期純利益	381,610	381,278
包括利益	381,610	381,278
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	381,610	381,278
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	437,330	407,330	512,348	△69,365	1,287,642
当期変動額					
新株の発行	4,476	4,476			8,952
親会社株主に帰属する 当期純利益			381,610		381,610
自己株式の取得				△53	△53
自己株式の処分		48,966		69,365	118,332
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	4,476	53,442	381,610	69,312	508,842
当期末残高	441,806	460,772	893,959	△53	1,796,484

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	4,468	1,292,111
当期変動額		
新株の発行		8,952
親会社株主に帰属する 当期純利益		381,610
自己株式の取得		△53
自己株式の処分		118,332
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	5,846	5,846
当期変動額合計	5,846	514,688
当期末残高	10,315	1,806,799

当連結会計年度（自 2021年10月1日 至 2022年9月30日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	441,806	460,772	893,959	△53	1,796,484
会計方針の変更による 累積的影響額			△123,478		△123,478
会計方針の変更を反映し た当期首残高	441,806	460,772	770,480	△53	1,673,006
当期変動額					
新株の発行	257,403	257,403			514,806
親会社株主に帰属する 当期純利益			381,278		381,278
自己株式の取得				△59	△59
自己株式の処分					
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	257,403	257,403	381,278	△59	896,025
当期末残高	699,209	718,175	1,151,758	△112	2,569,031

	新株予約権	純資産合計
当期首残高	10,315	1,806,799
会計方針の変更による 累積的影響額		△123,478
会計方針の変更を反映し た当期首残高	10,315	1,683,321
当期変動額		
新株の発行	10,395	525,201
親会社株主に帰属する 当期純利益		381,278
自己株式の取得		△59
自己株式の処分		
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△3,552	△3,552
当期変動額合計	6,842	902,868
当期末残高	17,157	2,586,189

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)	当連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	556,714	619,110
減価償却費	512,246	654,463
のれん償却額	19,994	19,994
負ののれん発生益	△111,916	-
災害損失	-	145,645
減損損失	-	2,414
その他の特別損益 (△は益)	-	12,890
固定資産除売却損益 (△は益)	866	△6,302
賞与引当金の増減額 (△は減少)	68,805	33,185
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,070	1,630
受取利息及び受取配当金	△1,696	△1,352
支払利息	124,638	184,278
売上債権の増減額 (△は増加)	△330,172	△1,607,161
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,035,256	△3,538,457
前払金及び長期前払金の増減額 (△は増加)	△431,917	△627,416
前払費用の増減額 (△は増加)	△40,090	4,682
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,027,541	406,950
返金債務の増減額 (△は減少)	-	52,865
前受金及び長期前受金の増減額 (△は減少)	△453,306	618,295
未払費用の増減額 (△は減少)	37,795	61,839
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	14,040	7,316
未収消費税等の増減額 (△は増加)	68,431	△49,953
その他	△8,429	96,734
小計	26,356	△2,908,348
利息及び配当金の受取額	277	29
利息の支払額	△124,102	△179,506
法人税等の支払額	△23,336	△248,603
法人税等の還付額	55,080	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△65,723	△3,336,428
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,245,431	△2,254,153
有形固定資産の売却による収入	33,900	67,634
無形固定資産の取得による支出	△9,020	△4,862
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△581,972	-
貸付けによる支出	△500,000	△500
保証金の支払いによる支出	△147,064	△213,689
保証金の払戻しによる収入	7,120	3,958
保険積立金の積立による支出	△3,450	△3,962
貸付金の回収による収入	-	166
その他	△10	△1,614
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,445,928	△2,407,023
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,737,565	4,289,679
長期借入れによる収入	3,402,044	4,722,907
長期借入金の返済による支出	△1,261,911	△3,126,731
リース債務の返済による支出	△62,365	△47,591
社債の償還による支出	△60,000	△60,000
新株予約権の発行による収入	-	10,395
株式の発行による収入	8,952	504,585
自己株式の取得による支出	△53	△59
自己株式の売却による収入	118,332	-
配当金の支払額	△7	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,882,556	6,293,184
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	370,903	549,732
現金及び現金同等物の期首残高	1,105,733	1,476,637
現金及び現金同等物の期末残高	1,476,637	2,026,369

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、新株予約権の行使により、当連結会計年度において資本金が257,403千円、資本剰余金が257,403千円増加し、当連結会計年度末において資本金が699,209千円、資本剰余金が718,175千円となっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、ローン販売で計上する手数料売上高のうち、将来の早期返済により見込まれる返金額を除いた額を売上高として認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当連結会計年度の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、当連結会計年度の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を連結会計年度の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当連結会計年度の売上高は52,865千円、売上原価は3,853千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ49,012千円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は123,478千円減少しております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

- ・前連結会計年度（自 2020年10月1日 至 2021年9月30日）  
当社グループは、主に自動車販売及びその附帯事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。
- ・当連結会計年度（自 2021年10月1日 至 2022年9月30日）  
当社グループは、主に自動車販売及びその附帯事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2020年10月1日 至 2021年9月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2021年10月1日 至 2022年9月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

- ・前連結会計年度（自 2020年10月1日 至 2021年9月30日）  
該当事項はありません。
- ・当連結会計年度（自 2021年10月1日 至 2022年9月30日）  
当社グループは、主に自動車販売及びその附帯事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

**【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】**

- ・前連結会計年度（自 2020年10月1日 至 2021年9月30日）  
当社グループは、主に自動車販売及びその附帯事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。
- ・当連結会計年度（自 2021年10月1日 至 2022年9月30日）  
当社グループは、主に自動車販売及びその附帯事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

**【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】**

- ・前連結会計年度（自 2020年10月1日 至 2021年9月30日）  
当社グループは、主に自動車販売及びその附帯事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。
- ・当連結会計年度（自 2021年10月1日 至 2022年9月30日）  
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)	当連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)
1株当たり純資産額	574.71円	744.91円
1株当たり当期純利益	124.17円	116.95円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	122.35円	115.05円

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当連結会計年度 (2022年9月30日)
純資産の部の合計額 (千円)	1,806,799	2,586,189
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	10,315	17,157
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	1,796,484	2,569,031
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (株)	3,125,876	3,448,748

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)	当連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	381,610	381,278
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	381,610	381,278
普通株式の期中平均株式数 (株)	3,073,342	3,260,307
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	-	-
普通株式増加数 (株)	45,759	53,818
うち新株予約権 (株)	45,759	53,818
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	-	第三回新株予約権 (3,254個)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。